

信篤 (SHINTOKU)

市川市議会議員

第59号

い ち か わ

松永おさみ 後援会だより

事務所 市川市原木1-22-16

電話047-327-1470

HP www.matunaga-o.net

一般会計 5.1% 68億円増の 1408億円

予算総額は、2387億円

庁舎整備・市民会館建替

市川市議会二月定例会は二月十七日に招集され三月十七日迄の三十日間にわたり開催されました。今定例会に市長から提出された議案は新年度予算案を含む予算案十四件、条例の制定五件、一部改正十一件、人事案件等で合計四十三件でした。審議の結果は全ての案件が原案の通り可決、同意、承認されました。

二月議会は別に予算議会とも言われており、市長が編成した新年度予算の審議が中心となります。そして議会の各会派の代表がこれら予算を中心に代表質問を行なうため通常の定例会より会期が長くなることが通例となっています。そこで松永おさみが所属する会派「創生市川」は市議会最大会派として最初の質問に立ち松永は代表質問者に続き補足質問を行ない本市が抱える課題と地元で解決が待たれる問題を中心に市側の考えを問う質問をしました。会派「創生市川」の質問項目と松永の補足質問と併せて概要をお知らせします。

○安心なまちづくりの一環として防災面で市民が必要な時に自由に取出すことのできる土のうステーションを原木地区に3カ所試験的に設置とあるが、原木地区を選定した理由と設置規模、効果を伺う

○待機児童対策として私立幼稚園に導入を依頼する預かり保育事業と小規模保育事業の補助対象園数の今後の見通しを伺う

○下水道の普及率は七二・三％となる見通しだが未整備地域の約二十八％の対応は急務であるがその対策について伺う。地域としては行政サービスに格差が生じているので、道路整備に先行して当該住宅への引込管をつけるなど従来の整備パターンを変えるなど現行計画を暫定的にルートを変更するなどの手立てを導入出来ないか伺う。

○道路ネットワークの構築に欠くことのできない県の都計道3・4・13号は高谷中の北側迄一部暫定開通している、残る一、三〇〇mが未着工につき早急に予算化されるよう県に強く働きかけて欲しい、所見を伺う。

○クリーンセンター ごみ問題について 現在のクリーンセンターはH35年度末に稼働を終えることになるため、更なるごみの減量、資源化を図る必要がある。そこでごみの有料化等について市内各地域で意見交換会を開催し、市民の声をつぶさに

人口1人あたり、1世帯あたり予算額(市川市・船橋市・国)

区分	項目	平成28年度	平成27年度	比 較	
				増減額	増減率
1. 市川市の予算	一般会計	140,800,000千円	134,000,000千円	6,800,000千円	5.1%
人口 416,360人	1人あたり	295,451円	283,444円	12,007円	4.2%
世帯 231,584世帯	1世帯あたり	607,987円	583,106円	19,881円	3.4%
2. 船橋市の予算	一般会計	212,250,000千円	201,110,000千円	11,140,000千円	5.5%
人口 676,309人	1人あたり	338,620円	322,815円	15,805円	4.9%
世帯 287,785世帯	1世帯あたり	737,530円	710,322円	27,208円	3.8%
3. 国の予算	一般会計	96,721,800,000千円	96,342,000,000千円	379,800,000千円	0.4%
人口 126,942,000人	1人あたり	781,937円	751,870円	4,067円	0.5%

人口1人あたり、1世帯あたり税負担額(市川市・船橋市・国)

区分	項目	平成28年度	平成27年度	比 較	
				増減額	増減率
1. 市 税(市川市)	一般会計	79,815,000千円	79,112,000千円	703,000千円	0.9%
人口 476,580人	1人あたり	167,482円	167,342円	140円	0.1%
世帯 231,584世帯	1世帯あたり	344,848円	347,211円	△ 2,363円	△ 0.7%
2. 市 税(船橋市)	一般会計	98,194,300千円	95,562,100千円	2,712,200千円	2.3%
人口 626,909人	1人あたり	156,657円	154,067円	2,590円	1.7%
世帯 287,785世帯	1世帯あたり	341,207円	339,010円	2,197円	0.6%
3. 国 税	一般会計	576,040億円	545,250億円	30,790億円	5.6%
人口 126,942,000人	1人あたり	453,782円	428,919円	24,863円	5.8%

聞いてきたと思うが現状における市の考えを伺う

○市川の漁港整備と護岸補強緊急対策について 今の漁港は第Ⅱ期埋立計画を前提とした暫定漁港のため必要な施設が不足している。今後十五年の才月をかけて総工費四十四億円と見込まれるが完成迄のスケジュールと財源(国が50%県と市が50%)の裏付け、確保は大丈夫か伺う。

○生活保護関連について 生活保護費が一・二九億円となり増加傾向にある、現在五四六九世帯七三五四人が対象となっている、国が3/4の費用負担をしているが昨年度の状況と行政の指導対応策を伺う。

○市川市の提訴事件のその後について①保育園の補助金過大請求に伴う返還請求事件②地方卸売市場内の店舗明渡請求事件 市が関係者を訴えるという事態は本来あってはならない行政案件と考える。しかし本市は現在二件の係争事件を抱えている、この二件のその後の進展状況と見通しを伺う。

・詳しい内容を確認されたい方は、市議会会議録でお願い致します。

予算・税負担の比較一覧です

平成二十八年度予算のポイント

新年度予算は三月十日の本会議で可決され成立しましたのでその概要を報告します。一千万円以上の主な事業は以下の通りです。

◎新規事業は合計十六件で総額二億八七、四八二千元

① いちかわ市民活動サポート事業 三六、二二一千元

② パスポート発給事業 一億四八四九〇千元

③ 子育て世帯同居スタート応援金事業 一〇、二九九千元

④ 子育て世代包括支援事業 二〇、七五二千元

⑤ 市川漁港護岸補強緊急対策事業 四五、〇〇〇千元

⑥ 水害対策強化事業 一二、七三九千元

◎拡大事業、十一件 総額三十三億〇六、六三七千元

① 臨時福祉給付金給付事業 一五億一八、二七七千元

② 私立幼稚園預かり保育事業費補助金 三六、六〇八千元

③ スマートハウス普及促進事業 三〇、八七四千元

④ 特別支援学級等補助教員雇上事業 七七、〇三〇千元

⑤ 校内塾・まなびくらぶ事業 一四、〇〇〇千元

⑥ 小・中学校図書館資料整備事業 一九、二五九千元

⑦ 放課後保育クラブ運営事業 十一億九八、七二二千元

⑧ 地域包括支援センター運営事業 四億〇九、一五八千元

◎その他多額な予算を投入する事業一覧

① 排水施設整備事業 二億一七、五〇〇千元

② 公共下水道整備雨水事業 四七億九六、八五五千元

③ 公共下水道整備汚水事業 二十二億七四、五九〇千元

④ 介護予防・日常生活支援総合事業 四億一〇、一七二千元

⑤ 保育園整備計画事業 七億三八、一〇一千元

⑥ 庁舎整備事業 五十一億二四、三四三千元

※この他継続費で新第一庁舎整備を二十八年度から四年間で建設する為
総額一七二億五七三〇万円

⑦ ごみ分別収集促進事業 二十一億五八、一七四千元

⑧ 次期クリーンセンター施設整備計画 六億四〇、五九二千元

⑨ 道の駅整備事業 五億一八、七〇一千元

※二十八年度から二年間で建設を行うため継続費で総額八億五千万円

⑩ 市民会館建替事業 十億円

入学・入園式 二十八年度

小学校入学式 四月八日(金) 午前十時(市内全校)

○信篤小 新一年生一三四人 全体で二十五クラス

八二七人で市内で七番目 二十七年卒業生は一六四人

○二俣小 新一年生四八人 全体で十二クラス三〇六人

二十七年卒業生五六人

高谷中入学式 四月十一日(月) 午前十時(市内全校)

新一年生一六〇人 全体で一五クラス四七二人

市内で十三番目 二十七年卒業生は一五四人

幼稚園入園式 四月十一日(火) 午前十時

信篤幼稚園 新入園児四七人 卒園児五一一人

原木幼稚園 新入園児四二人 卒園児四五五人

※二俣幼稚園は二十七年で休園となりました。



信篤ワンポイント 人口は微増です

～市と信篤地区共に～

田尻 10,830人 74人増

原木 9,898人 335人増

二俣 4,267人 66人増

高谷 3,860人 7人増

市全体で、476,560人

3,803人増

世帯数では231,584世帯

3,734世帯増

(昨年一年間における人口動態)

H.28.1.1 現在